

2022 年度日本海洋学会第 3 回幹事会議事録

日時:2022 年 8 月 22 日(木)13:30~17:00

場所:Zoom を利用したオンライン開催

出席者:神田会長、伊藤副会長、岩本、梅澤、江淵、岡、帰山、土井、西部、三角、吉田、事務局
(毎日学術フォーラム:平坂)

議題

1. 議事録確認(三角幹事)

2022 年度第 2 回幹事会の議事録が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡幹事)

2022 年 6 月から 7 月の入会者(46 名)と退会者(2 名)が承認された。2022 年 7 月末時点の会員数は、1430 名。

(2) 募集・推薦等の依頼(岡幹事)

公募・推薦 7 件、シンポジウム・講演のお知らせ 4 件、その他 1 件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことが報告された。

(3) 衛星地球観測コンソーシアム(CONSEO)加盟について(江淵編集委員長)

衛星地球観測コンソーシアム(CONSEO)への加盟について提案があり、承認された。本件について名古屋大学の石坂会員が担当となることが承認された。

(4) 学生会員の扱いについて(伊藤副会長)

学生会員の扱いについて、WG でとりまとめた内容について説明された。学部学生の取扱いおよび複数年一括納入に関する取扱いについて協議し、会則の改定案を秋季評議員会で諮ることとなった。

(5) 日本海洋学会学会賞・岡田賞・宇田賞細則の変更について(伊藤副会長)

日本海洋学会学会賞・岡田賞・宇田賞細則の変更について協議し、細則の改定案を秋季評議員会で諮ることとなった。

(6) 若手海外渡航援助(2022 年度後期分)について(伊藤副会長)

若手海外渡航援助について協議し、2 件を採択することが承認された。

(7) 法人化について(神田会長)

日本海洋学会の法人化に関して事業年度の扱い等について協議し、法人化案について秋季評議員会で諮ることとなった。

(8) 2022 年度秋季評議員会議事次第について(岡幹事)

秋季評議員会議事次第について確認し、承認された。

(9) 会員から提供のあった資料の情報の共有について(岡幹事)

会員から提供のあった資料の情報の共有について提案があり、情報について会員に周知することとなった。

3. 報告事項

(1) 会長(神田会長)

日本学術会議のマスタープランの後継になる「未来の学術振興構想」について、6月30日から公募開始されていることが述べられた。7月15日にオンライン説明会があり、神田会長、伊藤副会長が出席したことが報告され、意向表明の締切が10月31日、フォームへの入力締切が12月6日であることが述べられた。この件の今後の対応について秋季評議員会や秋季大会における将来構想に関するシンポジウムで意見を聞く予定であることが述べられた。

(2) 会計(西部幹事)

法人化に関わる会計の手続きについて報告され、協議した。

(3) 集会(三角幹事)

秋季大会の授賞式・受賞記念講演、各種委員会の開催に向けた準備状況について報告された。

(4) 研究発表(土井幹事)

2022 年度秋季大会の準備状況について報告された。

2023 年度の春季大会が JpGU2023 で開催されることが報告された。

2023 年度、2024 年度の秋季大会の実施予定について報告された。

(5) 選挙(梅澤幹事、代理)

2023 年度、2024 年度の役員選挙の公示について報告された。

(6) 編集

① JO(江淵編集委員長)

JO(Vo. 76(1)から Vol. 78(4))の発行状況、投稿・受理状況について報告された。

特集セクションの発行状況、発行見通しについて報告された。

学会ホームページからの過去の論文のリンクをテラ出版から J-STAGE に変更したことが報告された。

② 海の研究(吉田編集委員長)

海の研究第 31 巻 4 号の原稿が受理されたことが報告された。第 31 巻 4 号は 7 月 15 日に発行予定であったが遅れたため、9 月 15 日発行予定の 5 号と合併号とすることが報告された。

投稿論文の状況、J-STAGE への登録状況が報告された。

③ ニュースレター(岩本編集委員長)

JOS ニュースレター(第 12 巻 2 号)号が発行されたことが報告された。JOS ニュースレター(第 12 巻 3 号)は 9 月末原稿締切、11 月発行予定であることが報告された。

(7) 広報委員会(帰山幹事)

秋季大会の開催についてプレスリリースを実施することが報告された。

(8) 海洋環境委員会(梅澤幹事)

青い海助成事業の応募状況について報告された。

海外在住の会員から、青い海助成事業が利用できるか問合せがあったことが報告され、可能であると回答したことが報告された。

(9) 海洋環境問題研究会(梅澤幹事)

秋季大会の期間中に洋上風力発電に関するシンポジウムを開催することが報告された。

研究会のホームページのセキュリティに関する改修を今年度中に実施する可能性があることが報告された。

(10) 教育問題研究会(伊藤副会長、代理)

研究に関する将来構想 WG の方でとりまとめを行った、「海洋学に関する用語集」が学会のホームページで公開されていることが報告された。

文科省で実施された「一家に 1 枚」シリーズのポスターとして応募された「私たちの生活を支える海」のポスターについて、学会ホームページで公開されていることが報告された。

「海洋・水産系の大学・進路の相談窓口」が学会のホームページで公開されていることが報告された。

(11) 海洋生物学研究会(西部幹事)

海洋生物学研究会の会長交代について、秋季評議員会で審議予定であることが報告された。運営委員会についても約半数が交代する見込みであることが報告された。

(12) 日本海洋科学振興財団(伊藤副会長)

データ同化夏の学校が開催されることが報告された。

(13) 男女共同参画(伊藤副会長)

女子中高生夏の学校 2022 が 8 月 7 日、8 日に開催され、安中幹事、大林会員、酒井会員が参加し、女子中高生と対話を行ったことが報告された。詳細については JOS ニュースレターにて報告される。

8 月 22 日に第 20 期第 3 回運営委員会が開かれることが報告された。

10 月 8 日に第 20 回男女共同参画学協会シンポジウムが開催されることが報告された。

(14) 水産・海洋科学研究連絡協議会(伊藤副会長)

日本学術会議の水産分科会のシンポジウムの準備状況について報告された。

(15) 若手支援(伊藤副会長)

若手会が対面で開催されたことが報告された。

(16) リクルート戦略 WG(梅澤幹事)

学会ホームページに作成した「海洋・水産系の大学・進路の相談窓口」について 2 件の問合せがあったことが報告された。

(17) その他(伊藤副会長)

倫理規定、情報管理規定、ダイバーシティ・インクルージョン宣言について協議した。

以上